

2025年夏季 Passion を語る会 (山田研究室 OB・OG 会)

日時:2025年 8月1日 10:40 開始
場所:上越教育大学 実験棟2階 理科実験室204

ープログラムー

- 1 開会あいさつ 10:45~10:50
- 2 研究発表
- ①高松 祥太(B4) 10:50~11:05 (発表時間 10分、質疑応答 5分:計 15分)
題目『理科実験場面におけるトラブルへの対応に関する研究』
- ②加藤 由夏(M1) 11:10~11:25 (発表時間 10分、質疑応答 5分:計 15分)
題目『理科教育における心理的安全性と批判的議論』
- ③長谷川 ここの(M1) 11:30~11:45 (発表時間 10分、質疑応答 5分:計 15分)
題目『令和7年度全国学力・学習状況調査から見える理科教育の課題』

～休憩～

- ④風間 雄大(M2) 11:55~12:10 (発表時間 10分、質疑応答 5分:計 15分)
題目『NGSSに基づく小学校第5,6学年理科教科書の分析
ープラクティスの観点による探究的特徴ー』
- ⑤小林 祐斗(M2) 12:15~12:30 (発表時間 10分、質疑応答 5分:計 15分)
題目『自然の事象・現象を初めとした「主体的に取り組む態度」の諸要因の考察』
- ⑥江林 義照(M3) 12:35~12:50 (発表時間 10分、質疑応答 5分:計 15分)
題目『データ解釈の要因検討』

～昼食～

- ⑦木原 義季先生 13:30~13:50 (発表時間 12分、質疑応答 8分:計 20分)
題目『2023年検定済小学校理科教科書を対象とした評価規準の作成
ー観察・実験等に含まれる「探究の技能」に基づいてー』
- ⑧古川 未来(M2) 13:55~14:15 (発表時間 12分、質疑応答 8分:計 20分)
題目『新潟県の放射線教育の現状と課題ー小・中学校教員を対象としてー』
- ⑨川岸 嵩明(M2) 14:20~14:40 (発表時間 12分、質疑応答 8分:計 20分)
題目『「万能四球儀」の開発とその有効性の検討ー天体の満ち欠けの学習に焦点をあててー』

～休憩～

- ⑩西尾 祐哉(M2) 14:50~15:10 (発表時間 12分、質疑応答 8分:計 20分)
題目『太陽光発電を窓口とした課題解決を促すARアプリ教材の開発
ーデザイン思考のプロトタイプ・テストのプロセスに着目してー』
- ⑪二木 朋与先生(M2) 15:15~15:35 (発表時間 12分、質疑応答 8分:計 20分)
題目『高等学校理科「化学基礎」において科学的に探究する力の育成を図る授業デザイン』
- ⑫山田 一幸(D1) 15:40~16:00 (発表時間 12分、質疑応答 8分:計 20分)
題目『肢体不自由のある生徒のためのマイクロスケール実験教材の開発と
インクルーシブ教育における理科教育の有効性に関する研究』

3 講演

- ①山田 貴之先生 16:05~16:35
題目『科学的に探究する資質・能力を育む理科教育』
- ②栗原 淳一先生 16:40~17:10
題目『科学的に探究する力の育成を図る授業方略』

4 閉会のあいさつ 17:10~17:15

栗原先生のご紹介

栗原 淳一 先生(群馬大学 共同教育学部 教授)

<略歴>

2017年に兵庫教育大学博士課程を修了、現在群馬大学共同教育学部で教授として研究を重ねる。

<専門分野>

理科教育学/学習科学/教育方法/教師教育

<主な研究テーマ>

Science Education、科学教育、理科教育学

<講演会に関して>

多岐にわたる研究テーマの中より、科学的に探究する力についてのご講演をさせていただきます。

山田先生のご紹介

山田 貴之 先生(上越教育大学 大学院学校教育研究科 教授)

<略歴>

1996年から2018年まで岐阜県公立小中学校で教諭を務める。その後、2018年から大学教員として、研究を重ねる。

<専門分野>

科学教育、教科教育学、初等中等教育学

<主な研究テーマ>

教材開発、カリキュラム開発、仮説設定、科学的探究、問題解決

<講演会に関して>

多岐にわたる研究テーマの中より、理科教育学についてのご講演をさせていただきます。